

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとはあく

第 63 号

2021年5月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集 - 市民活動は仲間集めから -

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

特定非営利活動法人 ぴいかあぶう

NPO 法人になって

仲間を集めています

NPO 法人を目指して

福島アクティブキッズ project



NPO法人の 仲間集め

今号では、「仲間を集める」という視点で特定非営利活動法人（以下、NPO法人）として活動する団体、これからNPO法人の設立を目指している団体の代表者の方にお話を伺いました。

会の設立経緯を教えてください

吉田さん 2014年に

18年勤めた福祉系の事業所を退職し、自分で新たに起業しようと考えました。

最初にどんな団体にするかを考えた際に、地域の子どもたちが、元気に育つために、障がいのあるなしに関わらず子育てを応援する取り組みにしたいと思いました。

事業内容は、児童福祉法に関連する事業に加えて、誰でも利用可能な放課後子どもクラブ（学童保育、サッカースクール、体操教室）の内容で、2015年5月にNPO法人を設立しました。

設立から7年目を迎え、今後も、地域の皆さんの期待に応えていきたいです。

NPO法人の設立には、10人の仲間集めが必要ですがどのようになされましたか。

吉田さん

設立の準備段階で、各事業の担い手として専門性を持つスペシャリストの方々に声をかけ、正会員になっていただきました。

例えば、役割として児童クラブの担当、事業報告書作成などの役割を担っていただき、現在、12名の正会員が一緒に活動しています。

NPO法人の税制面での優遇などはありますか

吉田さん

NPO法人は、会費・寄附の収入が、非課税です。申請費用が無料な他、法人住民税の減免申請ができるなど優遇措置があります。

これからNPO法人を目指す皆さんへメッセージをお願いします。

吉田さん

仲間とは、多様な経験を持った人、厳しく意見をくれる人など、ミッションに向かつて一緒に進んでくれる人たちです。また、理念に共感し応援していただく企業・個人の方も仲間だと考えています。

より良い地域社会の実現には、仲間を増やすことが、欠かせません。

最後に、NPO法人を設立する際に、どんな社会課題の解決に取り組むのか、どのように仲間を集め、どんな方法で取り組むのかを仲間と話し合い共有し、準備を進めていくと良いと思います。



特定非営利活動法人ひいかあぶう



理事長 吉田 一也 さん

郡山市



写真提供：NPO法人ひいかあぶう

学童保育



写真提供：NPO法人ひいかあぶう

サッカースクール



写真提供：NPO法人ひいかあぶう

体操教室



写真提供：NPO法人ひいかあぶう



特定非営利活動法人
ひいかあぶう
公式Web





NPO 法人を目指す

仲間集め / 仲間づくり



福島アクティブキッズ project

代表 鈴木 孝英さん 須賀川市

どんな取り組みをされているのでしょうか？

鈴木さん 活動のきっかけは、2017年6月に立ち上げたランバイクというペダルが無い子供向けの自転車競技のチーム「ウルトラライダーズ」の活動からスタートしました。福島県の子どもの運動能力の向上を目指し、未就学児から小学校低学年を対象に、すべての運動の基礎となる質の高い運動プログラムを提供しています。

今年、NPO法人の設立を目指す理由はなんですか？

鈴木さん 理由としては、大きく二つあります。一つ目は、運営を担う仲間を集めることです。現在の運営は、所属している子どもたちの父兄が中心ですので、子どもが卒業すると会員から外れ、運営体制が不安定になります。多様な人材を募り、NPO法人として組織基盤を整えて行くことが必要だと考え法人化することにしました。



二つ目として、地域とつながり活動の幅を広げていきたいからです。例えば、事業を行う際に、自分達だけの単独で行うだけでは、広がりに限界があります。組織としての信用を高めながら、他の団体・企業や市民の皆さんとつながり、活動の輪を広げる連携の仲間づくりが必要だと考えています。

NPO法人設立に向けてどのように進めて行きますか

鈴木さん 現在、NPO法人の運営を担う正会員となる活動メンバーの勧誘やSNSを通じた多様な方の参加を呼び

かけています。NPOの設計図が完成したら、NPO法人設立の認証申請事務作業を進めていく計画です。

今後の抱負を教えてください

鈴木さん まずは、NPO法人になり、一人でも多くの子どもたちにプログラムを届け、元気な笑顔が見れるように、一歩ずつ進めていきたいです。

そのために、多くの地域団体やNPO・企業の皆さんとつながりが出来るように、仲間づくりをしっかりと行って参ります。

インタビュー全文は、Web で閲覧できます。

郡山市民活動
サポートセンター
公式Web



FAKP
公式 FB



「江湖村で農業体験！」参加者募集

団体

日時：2021年5月15日（土）、7月31日（土）1000～1300
場所：江湖村（福島県郡山市湖南町舟津字江湖山 5690-1）
参加費用：各回一人 1,000 円（昼食付）



NPO 法人江湖村

福祉「ボランティア養成講座」

団体

日時：2021年6月1日～4種類の講座
場所：郡山市障害者福祉センター
対象：福祉やボランティア活動に興味のある方



郡山市障害者福祉センター

マチヅクリ マッチング ヒロバ

団体

協働のまちづくりの情報提供とマッチングを行っています
【募集している物】現在以下の物品寄附を募集しています。
・会議用長机・折りたたみ椅子



郡山市市民活動サポートセンター

「孤独・孤立対策に取り組むNPO等緊急支援策」

内閣官房に、孤独・孤立対策担当室が設置されました。
孤独・孤立対策に取り組むNPO等への支援情報パンフレットが公表されましたのでご案内します。



内閣官房

市民活動団体向け Zoom 活用ミニ講座

市民活動団体のデジタル化推進を目的として、
郡山市市民活動サポートセンターにて、Zoom
の使い方をご案内しています。（完全予約・団体のみ）
郡山市市民活動サポートセンター



助成金情報 郡山市市民活動サポートセンター



助成金情報を
Webで閲覧できます



郡山市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体の活動情報等を募集しています。



- ◆ NPO法人設立のためには、10人以上の仲間が必要です。
- ◆ でも、ご心配なく。皆さんの活動を周りの人たちにお知らせすれば、仲間は少しずつ増えて行きます。

こんなお手伝いをしています

- ① NPO法人制度の説明
※出前講座も実施しています
- ② 「仲間集め」のコツ伝授
- ③ NPO法人設立申請書作成の支援

地域課題の専門相談会 無料 専門相談会 相談無料



相談テーマ 多文化共生社会の実現

専門相談員 三田 真理子 5/25 (火)
①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ クラウドファンディング活用

専門相談員 中潟 亮兵 5/27 (木)
①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ SDGs の推進

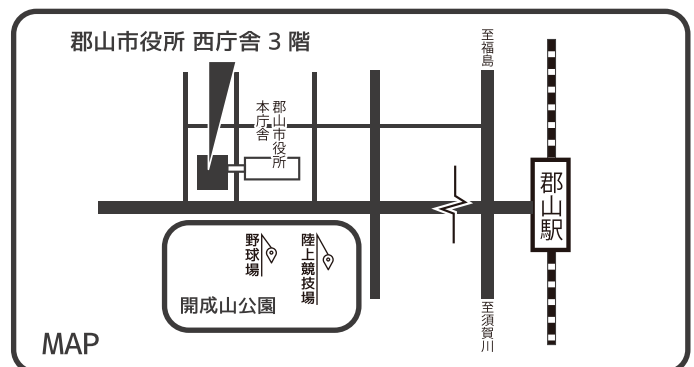
専門相談員 加藤 志津佳 5/26 (水)
①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



発行 郡山市市民活動サポートセンター

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始
電話/FAX 024-924-3352
メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp
ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/
住所 〒963-8601
福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO 活動推進課
運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク



MAP



Web



Twitter



Facebook

